

じどうしつだより No. 65 (2008. 10発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p>「うえにはなあにしたにはなあに」</p> <p>ローラ M.シェーファーさく バーバラ・バッシュエ 福音館書店 2008.5</p> <p>1109422730</p>	<p>もしきみがもぐらだったらあたまのうえにはなにがある？ つちがある。やわらかなえいようたっぴりのつち。ほそいねっこもある。ねっこのうえにはなにがある？ うえからうえへ、したからしたへ。やじるしにしたがってすすんでいくと地球にあるいろいろなものが見られるよ。</p>
<p>「おとん」</p> <p>平田昌広ぶん 平田景え 大日本図書 2008.6</p> <p>1109438284</p>	<p>ぼくのおとんはなんでこうもだらだらしとるんやろか。おとんってよんどるからあかんのやろか。パパとかよんだらすこしはかっこうつけるんちゃうかって考えて、「パパ」ってよんでみた。だけどいまいち反応なし。おとうさん、おとうさま、ちちうえ……。いろいろ呼んでみただけど……。</p>
<p>「おねえさんといもうと」</p> <p>ル=ホエン・ファムさく 小峰書店 2008.5</p> <p>1109414424</p>	<p>おねえさんは、いつでも、いちばん先にいろんなことをする。あたらしいようぶくばかりもっているし、とてもきちんとおかたづけする。でも、わたしはいもうとだもん。いつだって、おねえさんにおいつくところ。ようぶくはおふるだし、きちんとなんかしてない。でもね、おねえさんよりずっとうまくできることがあるのよ。</p>
<p>「かえるのじいさまとあめんぼおはな」</p> <p>深山さくら作 松成真理子絵 教育画劇 2008.6</p> <p>1109426499</p>	<p>かえるのじいさまがひるまくったものをおもいだしていた。すると、じいさまをよぶこえがする。ひるまくったあめんぼふうふのむすめ、おはなだ。なみだながらに「とおさん かあさんに あわせてください」「くちのなかを のぞくだけでいいんです」とたのまれる。なんだかめんどうなことになりそうだ。</p>
<p>「どうするどうするあなのなか」</p> <p>きむらゆういち文 高畠純絵 福音館書店 2008.6</p> <p>1109438373</p>	<p>3びきのねずみが2ひきのはらぺこやまねこにおいかけて、むちゅうでにげていく。その先にふかーい穴があるなんて気づかずに。いきおいあまってみんなおっこちた。穴はふかくて、ちょっとやそっとではでられない。みんなで穴からでようとかがえる。こんなときでも、やまねこはなんとかしてねずみをたべようとたくらむが……。</p>
<p>「ながいながい旅」 エストニアからのがれた少女</p> <p>イロン・ヴィークランド絵 ローセ・ラーゲル克蘭ツ文 岩波書店 2008.5</p> <p>1109432360</p>	<p>60年ほど前のエストニアに、いつも犬といっしょの女の子がいた。ある日戦争が始まって、犬と女の子は安全ないなかのおばあちゃんのところへ汽車で行くことになった。こうして女の子の旅は始まった。いなかも安全ではなくなると、こんどは漁船でスウェーデンへ。スウェーデンについた女の子は……。画家ヴィークランドが子ども時代の体験をもとにえがいた作品。</p>